

ノットコーポレーション

外構・エントランスをリノベ

照明工夫し明るい印象に



▶外観にルーバーを加え、居・オフィス両方に合った物件を築いた

リノベーション事業を行うノットコーポレーション（大阪市）は、築31年の複合ビルのリノベを実施した。スロープや照明の設置によるイメージアップを図り、入居者に寄り添った物件を実現させた。

同物件は大阪メトロ千日前線桜川駅から徒歩3分の「ヴェスタ堀江」SRC造、地下1階地上11階建て。住居スペースが34戸、2階は全戸のオフィスエリアとなっている。今回のリノベの目的は高齢者や子育て世代といった入居者の満足度向上だ。

主なリノベの施工箇所は、外構とエントランス。以前は黒の大理石で暗い印象を与えていたが、間

接照明やLED、人感センサーを設置することで明るさを重視した。入居者は子育て世帯が多いため、ベビーカーを利用しやすいようにエントランスにスロープを付けるなど、利便性向上も狙っている。また、オフィスと住居の複合施設のため、

来客者が行き先を間違わないように、エントランスにサインを設けるなどの工夫も行った。

同社の神谷奈緒美取締役は「以前は一度退去者が出る空室期間が長かったが、現在は募集後すぐに入居が決まる物件となっている」と話す。